

## 2025年度決算の概要(事業報告書より抜粋)

2025年度の決算は、事業活動収支計算書において、事業活動収入が77億9,324万円、事業活動支出が76億2,034万円となり、経常収支差額は3億8,317万円の収入超過、基本金組入前当年度収支差額は1億7,289万円の収入超過、事業活動収支差額比率は2.2%という内容になりました。

予算編成時点での事業活動収支差額比率は3.4%を計画しておりましたが、学校法人会計基準の改正により引当金の計上基準が明確化されたことにとともに、事業活動収支計算書の特別支出において複数の引当金特別繰入額を計上したことで基本金組入前当年度収支差額が縮小した結果となります。

### (1) 決算の概要

#### ① 貸借対照表関係

固定資産は、新5号館の設計費用を建設仮勘定として計上したほか、前年度に引き続き第2号基本金引当特定資産に充当する保有有価証券が大幅に増加したこと等により、前年度から6億3,229万円増加しました。一方で流動資産は3億8,746万円減少したものの、総資産額としては前年度から2億4,482万円増加の328億15万円となりました。

固定負債は、退職給与引当金について、非常勤講師の退職金(感謝金)も新たに計上することとしましたが、借入金の返済等による減少が上回ったため差引1億4,304万円の減少となりました。流動負債は新たに賞与引当金を計上したこと等により2億1,496万円増加し、総負債としては前年度から7,192万円増加の48億4,002万円となりました。

純資産合計は、前年度から1億7,289万円増加し、279億6,013万円となりました。

純資産構成比率は前年度から0.2ポイント低下し85.2%、総負債比率は0.2ポイント上昇し14.8%になりました。

#### < 貸借対照表の経年比較 >

単位:円

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	26,546,774,633	26,406,974,297	26,275,768,460	26,776,739,431	27,409,029,811
流動資産	4,315,399,704	4,906,789,366	5,791,606,218	5,778,597,648	5,391,130,027
資産の部合計	30,862,174,337	31,313,763,663	32,067,374,678	32,555,337,079	32,800,159,838
固定負債	3,999,230,184	3,760,006,710	3,524,780,432	3,436,986,297	3,293,945,129
流動負債	1,359,184,059	1,224,734,488	1,327,818,740	1,331,113,856	1,546,077,852
負債の部合計	5,358,414,243	4,984,741,198	4,852,599,172	4,768,100,153	4,840,022,981
基本金	31,056,143,901	31,474,752,797	32,120,071,514	33,275,176,756	34,228,636,489
繰越収支差額	△5,552,383,807	△5,145,730,332	△4,905,296,008	△5,487,939,830	△6,268,499,632
純資産の部合計	25,503,760,094	26,329,022,465	27,214,775,506	27,787,236,926	27,960,136,857
負債及び純資産の部合計	30,862,174,337	31,313,763,663	32,067,374,678	32,555,337,079	32,800,159,838

#### < 各種財務比率の経年比較 >

単位:%

財務指標		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	他大学平均*
純資産構成比率	純資産 ÷ (負債 + 純資産)	82.6	84.1	84.9	85.4	85.2	88.0
流動比率	流動資産 ÷ 流動負債	317.5	400.6	436.2	434.1	348.7	292.4
総負債比率	総負債 ÷ 総資産	17.4	15.9	15.1	14.6	14.8	12.0
運用資産余裕比率	(運用資産 - 外部負債) ÷ 経常支出	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5
前受金保有率	現金預金 ÷ 前受金	553.9	713.5	866.4	911.9	808.6	496.9
基本金比率	基本金 ÷ 基本金要組入額	91.5	92.3	93.0	93.5	94.0	97.4
積立率	運用資産 ÷ 要積立額	73.5	74.9	78.2	76.0	77.8	66.5

\*他大学平均…日本私立学校振興・共済事業団の2024年度決算データ(同規模大学平均)による

## ② 事業活動収支計算書関係

全体として、事業活動収入では学生生徒等納付金収入や経常費等補助金収入等が前年度からやや減少したものの、入学検定料収入の増加や京都国際マンガミュージアムの運営をはじめとする付随事業収入が依然として堅調であったこと、および有価証券の運用収入が増加したこと等により、前年度から2億242万円増の77億9,324万円となりました。一方で、事業活動支出についても、5号館の建替え準備にともなう春秋館の改修や什器等の移設、建物の外壁補修、グラウンドの整地改修等を積極的に推進したことや、会計基準の改正にともない特別支出において引当金繰入額を計上した結果、前年度から6億198万円増の76億2,034万円となりました。

### (ア) 教育活動収支

#### 【事業活動収入の部】

教育活動収支における事業活動収入合計は、前年度から1億1,991万円増の76億460万円となりました。それぞれの科目の主な概要は、以下のとおりです。

#### 学生生徒等納付金

前年度から9,591万円減の58億2,542万円となりました。2025年5月1日現在の学生数は、大学院を含む全体で77名の減少でした。

#### 手数料

入学検定料収入を含む手数料の合計は、前年度から1,728万円増の8,749万円でした。

#### 寄付金

前年度から615万円減の1,437万円で、教育活動収入とは別に特別活動収入として計上する施設設備整備への寄付や現物寄付を含めた寄付金全体としては、595万円減の2,756万円でした。

#### 経常費等補助金

前年度から2億2,886万円増加し、10億311万円となりました。私立大学等経常費補助金は前年度から1,700万円減少しましたが、その他の国庫補助金においては、高等教育の修学支援新制度において交付される授業料等減免費交付金が多子世帯への拡充にともない大幅に増加したことや、新たに文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター支援事業」に採択されたことが主な増加の要因です。ただし、高等教育の修学支援新制度については、減免費交付金と同額を教育研究経費の奨学金として支出しているため、この補助金の大学全体の収支に対する影響はありません。

#### 付随事業収入

全体では前年度から3,238万円減の4億8,466万円でした。京都国際マンガミュージアムにおいては、コロナ禍による行動制限が解除されて以降急速に入館者数が回復し、前年度は過去最高の売上額を記録しました。当年度はやや減少したものの、依然として堅調な状況です。

附属事業収入のみでは、前年度から4,011万円減の4億485万円でした。

補助活動収入は、国際学生寮「修交館」の寮費収入がこれの多くを占めており、前年度からは、123万円増の1,621万円となりました。

受託事業収入は、前年度から649万円増の6,359万円でした。

#### 雑収入

全体では前年度から820万円増の1億8,952万円となり、定年や任期終了等による教職員の退職に応じて交付を受ける私立大学退職金財団からの退職資金交付金も1,157万円増加しました。

## 【事業活動支出の部】

教育活動収支における事業活動支出合計は、前年度から3億5,231万円増の73億3,716万円でした。それぞれの科目の主な概要は、以下のとおりです。

### 人件費

2025年度からの新カリキュラムへの対応や大学・法人の運営強化のため非常勤講師や専任職員を積極的に採用したこと等により、前年度から1,311万円増の36億485万円となりました。一方で人件費比率(人件費/経常収入)は、経常収入の増加により前年度から0.8ポイント改善し46.6%となりました。

また、当年度から学校法人会計基準の改正により引当金の計上基準が明確化されたことにもない、26年度夏期期末手当の支給見込額を基に当年度に負担すべき額を賞与引当金として計上するとともに、新たに非常勤講師の退職金(感謝金)についても引当の対象とすることとし、退職給与引当金繰入額に含めております。

### 教育研究経費

全体としては、前年度から4億3,616万円増の29億3,878万円となりました。グラウンドプレハブ校舎の建設やレンタルに要する費用および既存建物の外壁補修に要した費用を計上したことが主な増加要因です。また、ここ数年、教育研究用機器備品の大規模な更新が続いていたことにより、減価償却費が増加していること等も教育研究経費の増加に影響しています。

### 管理経費

全体としては、前年度から9,695万円減の7億9,352万円です。広告費や報酬費を中心に前年度よりも抑えて執行しました。

### 徴収不能額等

当年度の徴収不能額は、ありませんでした。

## 【教育活動収支差額】

上記の収支要因によって、教育活動収支差額は2億6,744万円の収入超過(前年度からは2億3,240万円減)となりました。

### (イ) 教育活動外収支

#### 【事業活動収入の部】

##### 受取利息・配当金

保有有価証券の利息や保有株式の配当金が増加したことにより、前年度から3,763万円増の1億2,918万円となりました。

#### 【事業活動支出の部】

##### 借入金等利息

借入金の返済に伴い元金が減少したことにより、利息の支払いも295万円減少し、1,345万円となりました。

## 【教育活動外収支差額】

上記の結果、収入超過額は前年度から4,059万円増の1億1,573万円となりました。

## (ウ) 経常収支差額

経常収支差額は、収入超過額が前年度から1億9,181万円減の3億8,317万円となりました。

## (エ) 特別収支

### 【事業活動収入の部】

#### 資産売却差額

資産売却額の計上を要する売却はありませんでした。

#### その他の特別収入

「大学・高専成長分野転換支援基金助成金」4,578万円を受給したことにより、前年度から4,487万円増の5,944万円となりました。

### 【事業活動支出の部】

#### 資産処分差額

除却により531万円を計上しましたが、前年度からは1,149万円の減少です。

#### その他の特別支出

学校法人会計基準の改正で引当金の計上基準が明確化されたことにより、2025年度の期首時点で発生している引当金を特別収支で処理することとなりました。賞与引当金特別繰入額、貸倒引当金特別繰入額を計上したことに加え、これまで退職給与引当金に含まれていなかった非常勤講師の退職金（感謝金）についても新たに期首時点での要支給額を退職給与引当金特別繰入額として計上したこと等により、当年度については2億6,440万円を計上しました。

### 【特別収支差額】

主として上記特別支出の大幅な増加により、当年度の特別収支差額は2億1,027万円の支出超過となりました。

## (オ) 基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額と特別収支差額の合計である基本金組入前当年度収支差額は、主に特別収支における支出超過額が増加したこと等により前年度から3億9,956万円減の1億7,289万円となりました。事業活動収支差額比率は、前年度から5.3ポイント下落し、2.2%です。

## (カ) 基本金組入

当年度は、施設関係支出や設備関係支出等の第1号基本金にかかる資産の取得高としての第1号基本金組入額が前年度から2億352万円減の4億5,345万円となりました。また、2023年度から実習棟（5号館）の建替資金の積立として第2号基本金の組入を開始しましたが、前年度から組入額を5億円に増額し、引き続き2027年度までの各年度につき同額を組み入れる計画です。

第4号基本金（会計基準に定められている運転資金の確保のための基本金）については、前年度決算に基づく算定の結果、組入れる必要はありませんでした。

## (キ) 当年度収支差額

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた当年度収支差額は、7億8,055万円の支出超過となりました。よって、翌年度へは、支出超過額が62億6,849万円繰り越されること

になります。

< 事業活動収支計算書の経年比較 >

単位:円

科目		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	5,357,052,750	5,784,008,950	5,932,500,750	5,921,337,500	5,825,427,200
		手数料	77,907,954	77,053,975	75,522,172	70,200,627	87,490,408
		寄付金	25,249,502	22,343,690	24,851,405	20,537,076	14,378,990
		経常費等補助金	653,313,987	746,357,033	839,423,167	774,247,719	1,003,117,054
		付随事業収入	173,983,782	249,695,966	358,866,464	517,044,300	484,664,179
		雑収入	257,025,190	170,891,582	193,850,185	181,323,028	189,525,129
		教育活動収入計	6,544,533,165	7,050,351,196	7,425,014,143	7,484,690,250	7,604,602,960
	事業活動支出の部	人件費	3,307,745,898	3,363,743,140	3,531,095,687	3,591,747,725	3,604,855,900
		教育研究経費	2,109,538,635	2,335,479,705	2,405,331,296	2,502,619,834	2,938,785,451
		管理経費	529,802,292	585,159,204	679,551,819	890,476,814	793,521,144
		徴収不能額等	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	5,947,086,825	6,284,382,049	6,615,978,802	6,984,844,373	7,337,162,495
	教育活動収支差額		597,446,340	765,969,147	809,035,341	499,845,877	267,440,465
	教育活動外収支	事業活動収入	受取利息・配当金	63,017,733	74,016,484	77,808,419	91,556,130
その他の教育活動外収入			0	0	0	0	0
教育活動外収入計			63,017,733	74,016,484	77,808,419	91,556,130	129,189,484
事業活動支出		借入金等利息	22,131,357	22,590,621	19,593,189	16,410,497	13,452,025
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	22,131,357	22,590,621	19,593,189	16,410,497	13,452,025
教育活動外収支差額		40,886,376	51,425,863	58,215,230	75,145,633	115,737,459	
経常収支差額		638,332,716	817,395,010	867,250,571	574,991,510	383,177,924	
特別収支	事業活動収入	資産売却差額	2,059,997	0	755,997	0	0
		その他の特別収入	42,604,147	26,141,672	25,748,063	14,569,380	59,447,799
		特別収入計	44,664,144	26,141,672	26,504,060	14,569,380	59,447,799
	事業活動支出	資産処分差額	648,906	16,923,852	7,998,210	16,808,607	5,317,760
		その他の特別支出	863,012	1,350,459	3,380	290,863	264,408,032
		特別支出計	1,511,918	18,274,311	8,001,590	17,099,470	269,725,792
	特別収支差額		43,152,226	7,867,361	18,502,470	△2,530,090	△210,277,993
基本金組入前当年度収支差額		681,484,942	825,262,371	885,753,041	572,461,420	172,899,931	
基本金組入額合計		△545,502,546	△418,608,896	△645,318,717	△1,155,105,242	△953,459,733	
当年度収支差額		135,982,396	406,653,475	240,434,324	△582,643,822	△780,559,802	
前年度繰越収支差額		△5,688,366,203	△5,552,383,807	△5,145,730,332	△4,905,296,008	△5,487,939,830	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△5,552,383,807	△5,145,730,332	△4,905,296,008	△5,487,939,830	△6,268,499,632	

(参考)

事業活動収入計	6,652,215,042	7,150,509,352	7,529,326,622	7,590,815,760	7,793,240,243
事業活動支出計	5,970,730,100	6,325,246,981	6,643,573,581	7,018,354,340	7,620,340,312

< 各種財務比率の経年比較 >

単位: %

財務指標		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	他大学 平均*
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 ÷ 経常収入	81.1	81.2	79.1	78.2	75.3	78.7
補助金比率	( 経常費等補助金 + (施設設備補助金) ) ÷ 事業活動収入計	10.0	10.6	11.3	10.2	13.5	12.2
寄付金比率	(寄付金 + (現物寄付)+(施設設備寄付金)) ÷ 事業活動収入計	0.8	0.5	0.5	0.4	0.4	1.8
人件費比率	人件費 ÷ 経常収入	50.1	47.2	47.1	47.4	46.6	51.9
教育研究経費比率	教育研究経費 ÷ 経常収入	31.9	32.8	32.1	33.0	38.0	39.2
管理経費比率	管理経費 ÷ 経常収入	8.0	8.2	9.1	11.8	10.3	8.6
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 ÷ 教育活動収入計	9.1	10.9	10.9	6.7	3.5	△0.9
経常収支差額比率	経常収支差額 ÷ 経常収入	9.7	11.5	11.6	7.6	5.0	0.1
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入計	10.2	11.5	11.8	7.5	2.2	0.4

\*他大学平均…日本私立学校振興・共済事業団の2024年度決算データ(同規模大学平均)による

③ 資金収支計算書関係

(ア) 資金収支計算書

前年度から繰り越した支払資金(現金・預金)は、55億2,939万円でした。当年度の支払資金収入総額は、学生納付金、補助金、有価証券受取利息等の収入の他、次年度学費の前受金、未収入金・貸付金の回収等を含んで、81億7,550万円でした。その結果、収入の部の合計は、137億489万円となりました。

一方、当年度の支払資金支出総額は、人件費・経費、借入金利息・返済支出、施設・設備関係支出、有価証券の購入支出等で85億9,937万円でした。

以上の結果、翌年度繰越支払資金(期末現金・預金有高)は、51億551万円となり、支払資金は、4億2,388万円減少したことになります。

< 資金収支計算書の経年比較 >

単位: 円

収入の部	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
学生生徒等納付金収入	5,357,052,750	5,784,008,950	5,932,500,750	5,921,337,500	5,825,427,200
手数料収入	77,907,954	77,053,975	75,522,172	70,200,627	87,490,408
寄付金収入	49,714,502	28,791,422	35,483,725	29,024,090	23,651,000
補助金収入	665,857,987	759,828,033	851,168,167	775,639,599	1,048,906,864
資産売却収入	2,351,677	162,439	1,233,027	284,141	328,867
付随事業・収益事業収入	173,983,782	249,695,966	358,866,464	517,044,300	484,664,179
受取利息・配当金収入	63,017,733	74,016,484	77,808,419	91,556,130	129,189,484
雑収入	257,713,590	171,361,532	193,920,985	181,347,259	189,859,992
借入金等収入	1,249,000,000	0	0	0	0
前受金収入	719,871,220	649,747,222	637,528,818	606,340,277	631,423,200
その他の収入	1,329,362,824	1,160,615,015	1,705,098,432	1,126,470,555	594,738,199
資金収入調整勘定	△1,053,048,063	△897,450,893	△831,090,358	△806,838,676	△840,179,293
前年度繰越支払資金	3,489,227,656	3,987,477,954	4,636,036,286	5,523,756,345	5,529,390,485
収入の部合計	12,382,013,612	12,045,308,099	13,674,076,887	14,036,162,147	13,704,890,585

支出の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人件費支出	3,307,099,477	3,358,508,614	3,521,863,965	3,575,122,475	3,574,122,807
教育研究経費支出	1,600,775,424	1,773,833,224	1,812,204,406	1,899,019,199	2,291,438,301
管理経費支出	503,945,223	548,481,942	643,930,528	863,916,481	756,884,484
借入金等利息支出	22,131,357	22,590,621	19,593,189	16,410,497	13,452,025
借入金等返済支出	243,671,000	244,458,000	244,458,000	244,458,000	231,458,000
施設関係支出	1,470,500,970	253,079,807	166,384,758	434,877,523	556,844,863
設備関係支出	177,047,024	232,474,714	254,733,682	248,845,345	259,269,476
資産運用支出	1,097,258,016	890,965,000	1,593,657,000	1,389,516,000	997,568,000
その他の支出	198,357,691	247,287,217	174,355,856	275,849,136	379,570,707
資金支出調整勘定	△226,250,524	△162,407,326	△280,860,842	△441,242,994	△461,236,313
翌年度繰越支払資金	3,987,477,954	4,636,036,286	5,523,756,345	5,529,390,485	5,105,518,235
支出の部合計	12,382,013,612	12,045,308,099	13,674,076,887	14,036,162,147	13,704,890,585

### (イ) 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書を教育活動、施設整備活動、その他の活動ごとに分けて現金預金の動きを示した活動区分資金収支計算書において、教育活動による資金収支では収入超過状態を維持し続けています。施設整備等活動では当年度は減価償却引当特定資産の償還額が例年よりも少なかったことから、収入額が減少しました。

#### < 活動区分資金収支計算書の経年比較 >

単位:円

科目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による 資金収支	教育活動資金収入計	6,544,533,165	7,049,982,256	7,424,528,463	7,482,787,264	7,603,514,970
	教育活動資金支出計	5,411,028,124	5,679,473,321	5,977,995,519	6,337,767,292	6,616,740,334
	差引	1,133,505,041	1,370,508,935	1,446,532,944	1,145,019,972	986,774,636
	調整勘定等	△202,981,050	△61,786,368	73,336,208	7,821,460	106,893,477
	教育活動資金収支差額(A)	930,523,991	1,308,722,567	1,519,869,152	1,152,841,432	1,093,668,113
施設整備等活動による 資金収支	施設整備等活動資金収入計	1,106,616,677	820,450,111	1,130,341,990	720,036,186	472,330,767
	施設整備等活動資金支出計	2,544,806,010	1,277,142,521	1,615,346,440	1,875,637,868	1,813,682,339
	差引	△1,438,189,333	△456,692,410	△485,004,450	△1,155,601,682	△1,341,351,572
	調整勘定等	26,754,051	△21,507,218	32,249,948	145,942,694	△26,687,391
	施設整備等活動資金収支差額(B)	△1,411,435,282	△478,199,628	△452,754,502	△1,009,658,988	△1,368,038,963
小計(A+B)		△480,911,291	830,522,939	1,067,114,650	143,182,444	△274,370,850
その他の活動による 資金収支	その他の活動資金収入計	1,457,453,295	196,514,236	499,152,015	328,737,615	139,100,598
	その他の活動資金支出計	478,668,578	379,753,255	244,458,000	466,680,360	288,920,015
	差引	978,784,717	△183,239,019	△677,794,861	△137,942,745	△149,819,417
	調整勘定等	376,872	1,274,412	△751,745	394,441	318,017
	その他の活動資金収支差額	979,161,589	△181,964,607	△179,394,591	△137,548,304	△149,501,400
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		498,250,298	648,558,332	887,720,059	5,634,140	△423,872,250
前年度繰越支払資金		3,489,227,656	3,987,477,954	4,636,036,286	5,523,756,345	5,529,390,485
翌年度繰越支払資金		3,987,477,954	4,636,036,286	5,523,756,345	5,529,390,485	5,105,518,235

#### < 財務比率の経年比較 >

単位:%

財務指標		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 ÷ 教育活動資金収入	14.2	18.6	20.5	15.4	14.4

他大学  
平均\*

7.7

\*他大学平均…日本私立学校振興・共済事業団の2024年度決算データ(同規模大学平均)による

## (2) その他

### ① 資金運用の状況

本法人では2005年に「資金運用管理規程」を制定し、資金運用に関する諸事項を定め、有価証券の種類ごとにリスク分類を行うとともに、比較的风险が高いと考えられる商品については保有量に制限を設けるなど、債券保有を中心に安定的な運用を行ってまいりました。

運用体制については、専務理事を資金の運用・出納および保管事務に関する責任者とし、年2回の資金運用審議会において外部有識者の意見を参考にしながら運用を行っています。

近年は計画的な運用資金の増加や規程の範囲内でのリスク資産の購入につとめた結果、2025年度における有価証券等の利息や配当金の額は過去最高となる1億2,918万円となりました。

2026年3月31日現在の特定資産残高(貸借対照表計上額)は以下のとおりです。(単位:円)

	第2号基本金 引当特定資産	第3号基本金 引当特定資産	退職給与引当 特定資産	減価償却引当 特定資産	計
貸借対照表計上額	1,098,118,000	150,000,000	1,359,536,116	6,312,649,919	8,920,304,035
前年比増減額	500,000,000	0	0	81,715,910	581,715,910

### ② 学校債の状況

学校債の発行はありません。

### ③ 寄付金の状況

2025年度は2,756万円の寄付金収入がありました(現物寄付含む)。内訳は以下のとおりです。  
(単位:円)

特別寄付金(教育後援会による寄付/研究・文化活動、学生生活支援/MM応援募金)	13,122,602
施設設備寄付金(教育後援会による寄付(学内環境の整備支援)/施設・設備支援)	10,360,000
一般寄付金(古本募金)	168,398
現物寄付(学生配付用制作資材/機器備品/図書等)	3,915,852

### ④ 補助金の状況

2025年度は10億4,890万円の補助金収入がありました。内訳は以下のとおりです。(単位:円)

国庫補助金(私立大学等経常費補助金)	484,819,000
国庫補助金(授業料等減免費交付金、文化芸術活動基盤強化基金助成金等)	561,517,213
京都府・京都市補助金(京都未来人材育成プロジェクト事業費補助金、X線関節撮影補助金、ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業補助金)	2,570,651

### ⑤ 収益事業の状況

私立学校法における収益事業は行っていません。

## (3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

日本私立学校振興・共済事業団が学校法人の経営状態の把握、分析のために公表している『定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(法人全体)平成27年度～版』では、学校法人の経営状態を簡便に判別して14段階(A1～3、B0～4、C1～3、D1～3)に区分しています。これによると、本法人の当年度決算の状態は、A3区分(正常とされる状態の下位)と判断されます。

定量的な経営判断指標	本学の状況
教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上赤字である	いいえ
外部負債を約定年数又は10年以内に返済できない	いいえ
修正前受金保有率が100%未満である	いいえ
経常収支差額が3か年のうち2か年以上赤字である	いいえ
黒字幅が10%未満か	はい
積立率が100%未満か	はい
本法人の経営状態の区分	A3(正常)

今後は、既存の通学制学部のみならず、2028年度開設予定の本学初となる通信教育課程においても安定した学生確保を図ることで経営基盤をさらに強化し、魅力あるカリキュラムの構築や新5号館の建設をはじめとするキャンパス環境の充実等に還元できるよう目指してまいります。